

## 第 63 回 代数学シンポジウム

第 63 回代数学シンポジウムを下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。尚、このシンポジウムは科学研究費補助金基盤研究 (A) (研究代表者 寺杣友秀, 課題番号 15H02048) による援助を受けております。

記

日時：2018 年 9 月 3 日 (月) ～ 9 月 6 日 (木)

会場：東京工業大学本館地階 H101 講義室

会場責任者：内藤 聡

プログラム責任者：[群論・表現論] 佐垣 大輔, 田辺 顕一郎 [数論] 今井 直毅, 都築 正男

[代数幾何] 高橋 篤史, 吉永 正彦 [環論] 高木 俊輔, 増岡 彰

シンポジウム責任者：藏野 和彦 (評議員)

### プログラム

9 月 3 日 (月)

9:45-10:45 田中 太初 (東北大学 情報科学研究科)

「距離正則グラフの Terwilliger 代数の拡張について」

11:00-12:00 島倉 裕樹 (東北大学 情報科学研究科)

「中心電荷 2 4 の正則頂点作用素代数の分類について」

13:30-14:30 中筋 麻貴 (上智大学 理工学部)

「Schur 多重ゼータ関数とその特殊値について」

14:45-15:45 跡部 発 (東京大学 数理科学研究科)

「保型形式のリフティングの最近の進展について」

16:00-17:00 宮谷 和堯 (広島大学 理学研究科)

「 $p$ -進超幾何微分方程式と  $p$ -進 Liouville 数」

9 月 4 日 (火)

(\*9:45-10:45 丹原 大介 (弘前大学 理工学研究科)

「 $\text{hom}$  関手の群による商について」

(\*11:00-12:00 谷崎 俊之

「1 のベキ根における量子群の表現論」

(\*13:30-14:30 権 寧魯 (九州大学 数理解析研究院)

「セルバーグゼータ関数と素測地線定理の現在」

(\*14:45-15:45 中村 博昭 (大阪大学 理学研究科)

「グロタンディーク・タイヒミュラー理論の話題から」

16:00-17:00 越川 皓永 (京都大学 数理解析研究所)

「半安定還元の場合の  $A_{\text{inf}}$  コホモロジー」

9月5日(水)

(\*)9:45-10:45 向井 茂 (京都大学 数理解析研究所)

「K3, Enriques, Coble 曲面—無限自己同型群を中心として」

(\*)11:00-12:00 徳永 浩雄 (首都大学東京 理学研究科)

「平面代数曲線のトポロジーと2次被覆の "arithmetic"」

(\*)13:30-14:30 梶浦 宏成 (千葉大学 理学研究院)

「有限次元  $A_\infty$  代数の表現論」

(\*)14:45-15:45 西田 康二 (千葉大学 理学研究院)

「シンボリックリース環のネータ性について」

16:00-17:00 安田 健彦 (東北大学 理学研究科)

「Cohen-Macaulayness of klt singularities in positive characteristics」

9月6日(木)

9:45-10:45 岩成 勇 (東北大学 理学研究科)

「非可換代数多様体のホッジ構造と周期写像について」

11:00-12:00 佐野 太郎 (神戸大学 理学研究科)

「対数的 Calabi-Yau 多様体の変形について」

13:30-14:30 澁川 陽一 (北海道大学 理学研究院)

「ヤン・バクスター方程式からホップ垂代数へ」

14:45-15:45 大関 一秀 (山口大学 創成科学研究科)

「正規化されたヒルベルト関数について」

16:00-17:00 原伸生 (東京農工大学 工学研究院)

「On Frobenius summands of graded rings」

(\*)印付きの講演は、専門分野以外の聴衆も対象とした、サーベイなどを含む講演ですので、沢山の方にご参加頂ければ幸いです。

### 懇談会について

懇談会は、9月4日(火) 18:00 から東工大蔵前会館3階 手嶋精一記念会議室にて開催します。会費は3,500円です。多数のご参加をお待ちしております。参加ご希望の方は、8月6日(月)までに会場責任者の内藤聡 ([naito@math.titech.ac.jp](mailto:naito@math.titech.ac.jp)) までご連絡下さいますようお願い申し上げます。